

## ②若者定住促進施策、企業誘致について

西田町長(民間企業出身)が一昨年就任、「活力あるまち創り」「安心して暮らし続けられるまち創り」2本柱で予算重点配分した。下記の内容を踏まえ、活発な意見交換を行いました。

- **企業立地推進事業 95万円** (町長がトップセールスとして営業活動をする)
- **定住促進住宅新築・リフォーム助成事業 700万円** (定住促進・子育て支援策として新築80万円、リフォーム50万円の助成)
- **定住化促進事業(住宅整備及び企業進出等に伴うインフラ整備) 3793万円(29年度事業)** (限られた土地を民間と行政が共同しながら開発する(行政は配管、道路整備))
- **一人ひとりの子どもがキラリと輝く決め細かな教育推進事業 5908万円** (各種支援員を町内校園に配置し指導や支援を充実)
- **グローバル化に対応した英語教育の推進 776万円** (就学前～中学校まで一貫した英語教育の推進)
- **企業誘致 県と連携して立地セミナーなどトップセールス** (県許認可 ワンストップ窓口)

## たねやグループ

近江八幡市:10月24日(水)

田中 唯登志

企業による第6次業の取り組みについて「たねやグループ」を訪問しました。6次産業化とは、1次産業・2次産業・3次産業を融合することにより、新しい産業を形成しようとする取り組みのことです。滋賀県で最も人の集まる場所が、「たねやグループ」の旗艦ショップ店「ラ コリーナ近江八幡」です。菓子舗でありながら2015年にオープンするや、2017年にラ コリーナを訪れた人は約285万人。2018年では300万人を超えようとしています。

CEOの山本昌仁氏の経営理念には、近江商人の「売り手よし・買い手よし・世間よし」の三方よしの精神が根付いている感じがしました。また農作物などの原材料を「お菓子」に仕上げている「たねやグループ」はSDGs(持続可能な開発目標)を掲げ、農業や環境など常に未来に向けて持続可能な生き方を見つめながら企業活動を実践していました。



## おつけもの丸長

大津市:10月25日(木)

岩花 寛之

議会研修の最終日に千枚漬けで有名な滋賀県大津市の「おつけもの丸長」の工場見学に6次産業化のヒントを得るための視察に伺いました。創業は昭和28年、当初は京漬物に使われる野菜を栽培する農家として、前工程である「荒漬け」を手掛けており、その後直販店の開設によりお漬物を中心とした加工品を製造から販売まで手掛けております。最大のヒット商品は2014年にTV番組の企画で行われたお漬物日本一決定戦で見事グランプリを受賞した「まぜちがい菜」というオリジナルの加工漬け物で、実際お土産で購入しましたが非常に美味しく、日本一に納得の味でした。また、近年では若者の漬物離れを防ごうと、有名歌手が監修した商品の販売や、産官学での共同開発した商品も手掛けており、伝統を守りつつも、新たなことに果敢に挑戦する商売人としての姿勢にも感銘を受けました。

工場見学では、金井社長自ら創業から製法のこだわり、本社工場での加工技術や衛生環境への取り組みなど、余すことなく説明してくださいました。直販店では早朝にも関わらずお客様が次々と来店され、観光客だけではなく、地元の皆さんからも愛されるお店であることがわかりました。

実は今回一番驚いたことは、金井社長が上毛町をご存知だったことです。というのも、社員さんを含め、ふるさと納税を上毛町にしてくださいました。九州、福岡でもメジャーとは言えない当町をふるさと納税がきっかけで知り、返礼品の良さとはいえ購入(寄付)していただいているということに驚くとともに、ふるさと納税の恩恵は町のPRにも多大な貢献をしていることを知りました。平成30年度のふるさと納税額は36億に達しました。金額もさることながら多くの方に「上毛町」の名前を知っていただいたことを素直に喜びたいと思います。



# 議会全員研修(滋賀県)

参加議員 (安元、茂呂、大山、三田、峯、宮崎、高畑、荒牧、田中、岩花)

## 道の駅 浅井三姉妹の郷

長浜市:10月23日(火)

宮崎 昌宗



道の駅浅井三姉妹の郷は、全国初の商工会の管理・運営による道の駅として誕生しました。元々は東浅井商工会の共同販売施設として開業しましたが、国道に面し、長浜市の情報発信や周遊型観光を推進する玄関口としての機能強化を図るため、道の駅化を行っています。

この施設の強みとして、経営に商工会が主体的に取り組むことで、地域の商工業者や新たに起業を考えている方々への特産品開発のアドバイスなどを適時行っており、またチャレンジショップとして活用できることです。

現在、商工会での運営から、地元企業の経営者が社長を務める第三セクターの運営に変更しています。商工会は道の駅から売り上げの数%の契約で経営支援委託を受け運営のサポートを行っています。売上高は1億超ですが、商工会が経営にかかわることで利益も出し、昨年度は市に300万円ほど納税とのこと。

本町の道の駅は、今年度末が指定管理の見直し時期ですが、現形態の是非も議論されています。運営の一つの手法として良い勉強となりました。



## 竜王町議会

竜王町:10月24日(水)

三田 敏和

研修2日目、午前中は、若者定住促進施策、企業誘致について滋賀県竜王町を訪問しました。

### 概要

#### ①沿革

- 昭和30年合併し竜王町となる。滋賀県の東南部蒲生平野に位置し、平地と
- 丘陵地に大別され、緑豊かな自然環境に恵まれている。
- 町には駅がなくJR近江八幡駅から20分
- 大阪、名古屋から直線で70km、竜王インターから10分
- 町の殆ど(93%)が市街化調整区域、農振地域で、市街化区域の94%が工業専用地域で住宅用地がない。
- 人口減少は悩ましく、増田リポートで消滅可能都市に挙げられている。(新たな住宅が建て難い環境)
- 自主財源比率が72.9%、うち町税が3億8600万円(55.9%)しかし、法人住民税が企業の業績により、12億円程度の幅があり財政的には厳しい。

	竜王町	上毛町
面積	44.55km <sup>2</sup>	62.44km <sup>2</sup>
田	28%	17%
山林	30%	62%
人口	12,096人	7,656人
一般会計	55億2200万円	61億4300万円

